

	 <p>←的の上にボールを置く練習</p>  <p>←障害物をよけて的的にボールを近づける練習</p> <p>2. ②ポッチャのゲームを楽しむでは、赤チーム・青チームに分かれてゲームに取り組んだ。</p> <p>3. ③ポッチャの試合をする、チーム戦をするでは、チーム戦で試合に取り組んだ。</p> <p>4 チームに分かれて試合総当たりで取り組む。</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ポッチャの基礎的な練習を毎時間繰り返し取り組むことで、ルールの理解が難しい生徒もジャックボールを意識して投球する姿が見られるようになってきた。自分なりの投げ方でコントロールが難しかった生徒が講師の方からのテクニックのアドバイスを受けたことで、的の方向へ投げたり、強弱をコントロールして投げたりすることができるようになった。ポッチャを通して、仲間意識が芽生え同じチームの友だちを応援したり、チームが勝った時には共に喜ぶ姿が見られた。また、友達と相談して投球順を決めたり、チーム名を決めたりすることでゲームの勝敗を意識して、楽しみながら取り組む様子が見られた。
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分がどちらのチームかわかるように色つきのゼッケンを着る ボックスサイドラインに赤か青のラインテープを引き投球場所を示す 的を狙ってボールを投げるスポーツであることが理解できるように、最初はジャックボールの代わり生徒の興味を引くキャラクターが描かれた大きな紙や点数が書かれた紙を的の代わりに使用した。また、生徒の段階に合わせて的を小さくしていった。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みの初期の頃にペアで向かい合ってボールを投げ合う(転がし合う)練習をしていたが、相手の立ち位置を通り越すくらい勢いよくボールを投げていた。ボールを相手の足元でぴたり止めることを意図していた練習だったが、その部分が生徒には上手く伝わっていなかった。相手の足元に紙の的などを敷いておいてその上に止まるように投げる、とすれば生徒にも理解しやすかったように思う。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検討中